



# TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

## Today's news Flash チーム福岡 意地の逆転 総合成績現在8位!

21日、岐阜県、千葉県を抜き、一気に8位へ。バスケットボール成年男子、バレーボール少年男子の優勝をはじめ、ラグビーフットボール、柔道、剣道といった団体競技の活躍、陸上競技、馬術競技の複数種目入賞等により、7位入賞は見てきた。明日のバスケットボール競技少年男子決勝、陸上競技の3種目の決勝に出場する選手の活躍を期待し、チーム福岡は一丸となり、2年連続8位以内入賞に向け全力で臨む。

### バスケットボール競技 成年男子 優勝

バスケットボール成年男子は、決勝で東京都と対戦した。前半は一進一退の攻防となったが後半は、福岡が持ち味を發揮し、堅いディフェンスから得点を重ねた。最後は優位に試合を進めた福岡が68-54で見事に優勝、出場する選手全員が全力で走り回る福岡のプレースタイルに、会場から大きな拍手が贈られた。

キャプテンの吉満選手は、「チームが団結し、一丸となって試合に臨めたのが大きな勝因です！応援をいただいた皆さん、本当にありがとうございました。」と感謝の言葉も忘れなかった。

少年男子も準決勝で広島県に対し、112-84で勝ち、決勝に駒を進めた。明日の決勝で成年・少年の二冠を目指す👑👑



### バレーボール競技 少年男子 優勝 成年男子 3位

島原復興アリーナにおいて、バレーボール少年男子決勝が行われた。決勝では鹿児島県と対戦し、第1セットこそ接戦ではあったものの、勝負どころをしっかりと押さえてものにした。2セット・3セットは力の差を見せつけ、完勝、準決勝では1セット落としたものの、他は全てストレート勝ちし、福岡のバレー技術の高さを見せつけた。

成年男子は3位決定戦で鹿児島県と対戦し、見事勝利した。プレミアリーグに所属しているふるさと選手を主体としてチームを編成した福岡県。それぞれ高校時代は少年の部で大活躍し福岡バレーを牽引してきた選手ばかりで、福岡県への思いから今回のチーム編成が叶った。そのパフォーマンスの高さは会場を大いに湧かせた。



21日現在、福岡県は、上位に位置していた岐阜、千葉を捉えて8位に浮上、最終日を迎える。最終日に行われる競技は、バスケットボール少年男子決勝と陸上競技であり、バスケットボール少年男子で福岡は、35～40点が確定しているのに対し、ライバルとなる北海道、岐阜、千葉は得点できていない。また、陸上競技では、4種目が残されているが、本県の最高獲得点は24点、北海道8点、岐阜16点であることから、本県が最小獲得点となったとしても、北海道を逆転し、他のライバル県も追いつくことはできない。

公式ではないものの、本県は7位入賞をほぼ確実にした。

### ■21日終了現在の福岡県の順位状況

順位	都道府県名	得点	順位変動	得点差
1位	長崎	2364.0	→	-897.5
2位	東京	2099.5	→	-633.0
3位	愛知	1873.5	→	-407.0
4位	大阪	1805.5	→	-339.0
5位	埼玉	1695.5	→	-229.0
6位	神奈川	1648.5	→	-182.0
7位	北海道	1477.5	→	-11.0
8位	福岡	1466.5	↑	0.0
9位	岐阜	1430.5	→	36.0
10位	千葉	1394.0	↓	72.5
11位	兵庫	1308.0	→	158.5
12位	京都	1222.5	↑	244.0

## RESULT

バスケットボール競技	〈成年男子〉	優勝
バレーボール競技	〈成年男子〉	3位
	〈少年男子〉	優勝
ラグビーフットボール競技	〈少年男子〉	準優勝
柔道競技	〈成年男子〉	4位
剣道競技	〈成年男子〉	4位
陸上競技	〈成年男子〉 やり投	8位 田中 千智
	〈成年女子〉 400m	8位 恵良 友也
馬術競技	〈少年男子〉 トップスコア	7位 菊竹 寛太

国体の情報については、大会ホームページ(下記アドレス)より、御覧ください。

<http://www.nagasaki-kokutai2014.jp/kokutai>

【発信元:公益財団法人福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係】